令和５年度

一般選抜（Ｉ期）問題

試験日　２月３日

日本史

試験開始までに下記の注意事項をよく読んでください。

注意事項

① 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
② 開始の合図後、解答用紙に「氏名」、「個人番号」を記入すること。
③ 受験票、筆記用具以外は、机上に置かないこと。
④ 受験票は机上に貼付してある「個人番号」の手前に置くこと。
⑤ 記述解答で、字数の指定がある問題では句読点は１字として数えること。
⑥ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
⑦ 試験中は退席しないこと。（気分が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に知らせること）
⑧ 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ること。

〔1〕 次の文章は、2022年に起きた出来事を振り返った大学生と先生の会話である。この文章を読み、下記の問いに答えなさい。

優花：令和4年にとって大きな出来事は、ロシアのウクライナ侵攻ではないかと思います。

そして、さまざまな人権侵害が起きていました。

正史：ここで、日本の人権問題について触れておきましょう。2022年の100年前、(1)1922（大正11）年に、被差別民の差別解消のため、全国から3000人が集まって(2)創立大会が開催され、全国水平社が結成されました。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と結ぶ全国水平社創立の宣言文は（　①　）が起草しました。

優花：1871（明治4）年に、身分解放令が出て、(3)えた・非人の称が廃されましたが、その後も結婚や就職などでの社会的差別は続いたのですね。

正史：明治時代には融和運動的なものが多く、大正時代に部落民自体の解放運動が起こり、全国水平社創立に繋がります。

ところで、差別を受けていた人について、時代をさかのぼると、ヤマト政権の時代には、氏や氏を構成する家々には奴隷として所有される（　②　）がいました。律令国家の賤民は、(4)官有の陵戸・官戸・公奴婢と私有の家人・私奴婢がありました。室町時代には、賤民身分の善阿弥が、(5)東山山荘の庭を作り活躍しています。

優花：孤児や病人たちも、厳しく対処されていたのではないですか。

正史：奈良時代の(6)光明皇后は(7)平城京に孤児・病人を収容する施設、(8)医療に当たらせた施設を設けています。また、鎌倉時代の忍性は、(9)奈良に病人の救済施設を建て、施療や慈善に尽くしました。

優花：差別を受けていたといえば、アイヌ民族と在日朝鮮人が思い浮かびますね。

正史：アイヌ民族について、江戸幕府はアイヌとロシアとの連携の可能性を危惧して、(10)1798年「大日本恵登呂府」の標柱を立てました。さらに、1800（寛政12年）には八王子千人同心100人を蝦夷地に入植させ、1802年には東蝦夷地を直轄地とし、居住のアイヌ人を（　③　）とし、同化政策を進めました。1804年、(11)ロシア正式使節に冷淡な対応をしたため、ロシア船は樺太や

択捉島を攻撃しました。

優花：近代になっても、日本とロシアの間にアイヌ民族は挟まれていたのですね。

正史：1869（明治２）年、北海道に開拓使を置き、1874（明治４）年には北海道開拓とロシアに対する警備のため、困窮な士族を移住させ(12)農兵を置きました。開発の陰で、アイヌは伝統的な生活・風俗・習慣・信仰を失っていきました。1899（明治 32）年の北海道旧土人保護法も(13)アイヌ文化の破壊をくい止めることはできませんでした。現代の 2007（平成 19）年、国連総会で「先住民族の権利に関する国連宣言」が採択され、2009（平成 21）年にはユネスコ（国連教育科学文化機関）により(14)アイヌ語は消滅の危機にある言語と位置付けられ、2020（令和２）年に、民族共生象徴空間ウポポイおよび国立アイヌ民族博物館が開館しました。

優花：在日朝鮮人では、(15)1923 年、流言により、多くの朝鮮人が殺傷された事件がありましたね。

正史：世界文化遺産の登録については、(16)「明治日本の産業革命遺産」の長崎市の端島炭坑（通称・軍艦島）および佐渡島の金山は、韓国の主張により、朝鮮人の強制労働が問題になりましたね。

問１　下線部(1)について、当時の社会の流れを記した下記の文章で、それぞれ間違いを正しなさい。

a　平塚らいてう・市川房枝らは、大正９年に青鞜社を設立し、婦人参政権の要求など女性の地位を高める運動を進めた。

b　農村では小作料の引き下げを求める地方改良運動が起こり、大正 11 年には杉山元治郎・賀川豊彦らによって、日本農民組合が結成された。

c　大正８年に改称した大日本労働総同盟友愛会は、大正９年に第１回ストライキを主催した。大正 10 年には日本労働総同盟と改め、階級闘争主義に方向転換した。

d　ロシア革命の影響で、大正 11 年に、堺利彦・山川均らによって社会民衆党がコミンテルンの支部として非合法のうちに結成された。

問２　下線部(2)について、大会が開催された都市を、下記の語群から選び記号で答えなさい。

a　東京　　b　京都　　c　名古屋

問３　空欄（　①　）に入る適切な人名を、下記の語群から選び記号で答えなさい。

a　阪本清一郎　　b　西光万吉　　c　駒井喜作　　d　難波大助

問４　空欄（　②　）（　③　）に入る適切な語句を答えなさい。

問５　下線部(3)について、Ａえた、Ｂ非人の説明を、下記の選択肢の中から選び、記号で答えなさい。

a　村や町から排除され集団化をとげた乞食で、村・町の番人などをつとめた。
b　宗教的な行為に従事し、修験者や陰陽師などの宗教者を指した。
c　幕府や大名の支配のもと、死牛馬の処理や行刑役などを強いられた。

問６　下線部(4)について、５種類の賤民を総称して何と呼ぶか、答えなさい。

問７　下線部(5)について、東山山荘を作った将軍を答えなさい。また、現在では寺院になっているが、その寺院名を答えなさい。

問８　下線部(6)について、有力者の父、また夫の天皇を答えなさい。

問９　下線部(7)～(9)について、各施設の名称を答えなさい。

問 10　下線部⑽について、「大日本恵登呂府」の標柱を立てていない人を、下記の語群から選び記号で答えなさい。

a　間宮林蔵　　b　最上徳内　　c　近藤重蔵

問 11　下線部⑾について、このロシア使節を答えなさい。

問 12　下線部⑿について、この農兵を何と呼ぶか、答えなさい。

問 13　下線部⒀について、アイヌ文化振興法が制定された年を、下記の語群から選び記号で答えなさい。

a　1997 年　　b　1967 年　　c　1937 年　　d　1907 年

問 14　下線部⒁について、アイヌ民族が北海道、千島列島、樺太（サハリン）などで使用していた言語である。その地域の歴史を述べた下記の説明を、年代順に並び変えなさい。

a　樺太・千島交換条約を結び、樺太にもっていた権利をロシアに譲り、千島列島を領有した。

b　ヤルタ秘密協定により、ソ連への南樺太の返還、千島列島の譲渡が決められ、ソ連軍が占領した。

c　日露和親条約を結び、択捉島以南を日本領、樺太は両国人の雑居の地として境界を定めないこととした。

d　ポーツマス条約により、北緯 50 度以南の樺太と付属の諸島が、ロシアから日本へ譲渡された。

e　日ソ共同宣言により、平和条約が締結された後、歯舞群島及び色丹島を日本に引き渡すことが同意された。

問 15　下線部⒂について、この事件は何の混乱時に発生したか、答えなさい。

問 16　下線部⒃について、九州の所在でない遺産を下記の語群から選び、記号で答えなさい。

a　官営八幡製鉄所　　b　三池炭鉱　　c　高島炭鉱
d　韮山反射炉

〔2〕次の史料を読み、下記の問いに答えなさい（史料は省略したり、書き改めたりしたところがある）。

A　元和令

一、（　①　）弓道ノ道、専ラ相嗜ムベキ事。……

一、諸国ノ居城修補ヲ為スト雖モ、必ズ言上スベシ。況ンヤ新儀ノ構営堅ク停止令ムル事。……

B　寛永令

一、(1)大名小名、(2)在（　②　）交替、相定ル所也。毎歳夏四月中（　③　）致スベシ。従者ノ員数近来甚ダ多シ、且ハ国郡ノ費、且ハ人民ノ労也。向後其ノ相応ヲ以テ、之ヲ減少スベシ。……

一、(3)五百石以上ノ船停止ノ事。

C　天和令

一、(①) 忠孝を励し、礼儀を正すべき事

一、（　④　）は同姓相応の者を撰び、若之無きにおゐては、由緒を正し、存生の内言上致すべし。五拾以上十七以下の輩末期に及び（④）致すと雖も、吟味の上之を立つべし。縦、実子と雖も筋目違いたる儀、之を立つべからざる事。

附、（　⑤　）の儀、弥制禁せしむる事。

天和三年七月廿五日

問１　空欄（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句を答えなさい。

問２　この資料は、一般に何と呼ばれる法令名か答えなさい。また、A～C発令時の将軍を答えなさい。

問３　下線部(1)について、石高の大小の大名を意味するが、大名とは何石以上の石高を有する武士を指すのか。その基準となる石高を答えなさい。

問４　下線部(2)について、大名の国元を意味する。御三家の国元を西から順に答えなさい。

問５　下線部(3)について、500 石を、現在のメートル法で表わすと、どの数値になるか。下記の語群から選び記号で答えなさい。ちなみに、１石は約 180 リットルである。

a　約 9 m^3　　b　約 90 m^3　　c　約 900 m^3　　d　約 9000 m^3

問６　現在のこの史料は『御触書寛保集成』に記されている。「御触書集成」とは江戸幕府の法令集で４回編纂され、それぞれ編纂開始の元号（寛保・天保・天明・宝暦）が付いている。その元号を年代順に並べかえなさい。

〔3〕次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

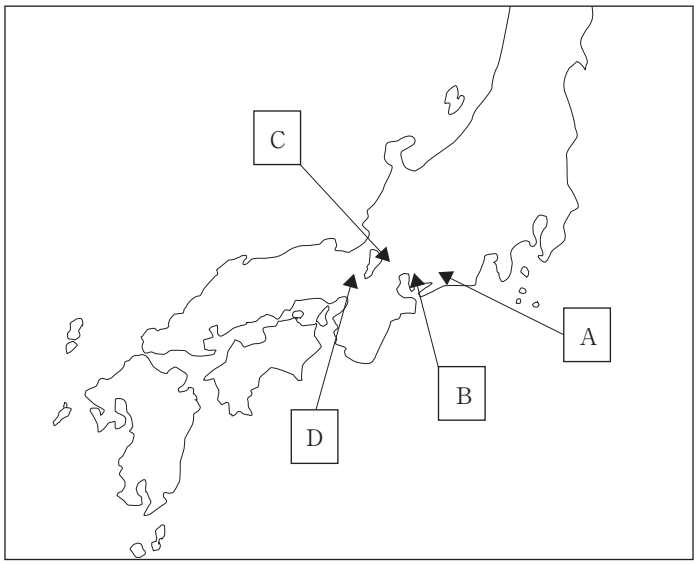
戦国大名の中で全国統一の野望を最初にいだき、実行に移したのは尾張の（　①　）であった。（①）は1560年に（　②　）を尾張の(1)桶狭間の戦いで破り、1567年に美濃の斎藤氏を滅ぼして岐阜城に移ると「　③　」の印を使用して天下を武力で治める方針を明らかにした。翌年、（　④　）を将軍職につけて、全国統一の第一歩を踏み出した。

1570年、（①）は(2)姉川の戦いで浅井氏・朝倉氏を破り、翌年には（　⑤　）の焼打ちを行った。1573年には、（④）を京都から追放して(3)室町幕府を滅ぼした。

1573年、三河の(4)長篠合戦では、鉄砲を大量に用いた戦法で武田軍に大勝し、翌年近江に壮大な安土城を築き始めた。このようにして、（①）は京都をおさえ、近畿・東海・北陸を支配下に入れて、統一事業を完成しつつあったが、1582年(5)本能寺で、配下の明智光秀に背かれて敗死した。

問1　空欄（　①　）～（　⑤　）に入る適切な語句を答えなさい。

問2　下線部(1)(2)(4)(5)について、それぞれの場所はどこか、下記の日本地図に示した記号で答えなさい。



問３　下線部(3)について、初代の将軍を答えなさい。